

2009年8月6日

トヨタホーム、子育て世代向け商品「シンセ・はぐみ」が第3回キッズデザイン賞を受賞

トヨタホーム株式会社（以下、トヨタホーム、名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長：森岡仙太）は、子育て世代向け商品として今春発売した『シンセ・はぐみ』が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「第3回キッズデザイン賞」（建築・空間デザイン部門）を受賞した。キッズデザイン賞は07年に設けられ、トヨタホームが受賞したのは今回が初めて。作品は8月6日（木）から9日（日）までTEPIA（東京都港区北青山2-8-44）で開かれる「キッズデザイン博2009」で展示される。

キッズデザイン賞は、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして、子どもたちを産み育てやすいデザインの顕彰制度。

トヨタホームは、『シンセ・はぐみ』を、“子どもたちに元気でよい子に育って欲しい、いつまでも家族の絆を大切にしたい”という子育て家族の視点に立ち、子育てをサポートする生活提案と、トヨタホームならではの間取り可変対応力を活かした「成長する家」として開発した。また、赤ちゃんから大人になるまで成長の段階に応じて間取りが変えられ、子どもが生活する中で自然に学んだり、家族と一緒に楽しく過ごすためのアイデアを家の隅々まで、盛り込んだ。

受賞に際し、審査委員から「子育て支援、家族のコミュニケーションを多様な角度から追求した住宅の提案として評価した」とのコメントをいただいた。



「シンセ・はぐみ」外観

■『シンセ・はぐみ』のデザインの特徴

（1）はぐみダイニング

家族が自然に触れ合え、コミュニケーションを育める、ダイニングを中心とするひろびろ大空間を提案。

Lダイニング



母親がパソコンをしながら子どもの宿題を見たり…、自然にコミュニケーションが生まれる大きなテーブルのあるダイニング

見晴らしキッチン



母親が家事をしながらダイニング全体を見渡せるキッチン

UP座ダイニング



床から1段上がったタタミコーナータイプも用意

(2) 成長するキッズルーム

子どもの成長に合わせて、その時学すべきコミュニケーションや、整理整頓の習慣を育む間取りに変化させることができる。

①よちよちステージ (乳幼児期)



クローゼットをしつらえ

- ・赤ちゃんといっしょの空間で家事ができる「ママの家事スペース」
- ・川の子で寝られる「川の子ベッドルーム」

②わんぱくステージ (小学生期)



ドア・間仕切りをつけて個室化

- ・整理整頓の習慣を身につけるのに最適な「しつけるクローゼット」
- ・相手を気遣って暮らすことを学べる「なかよしベッドルーム」

③じりつステージ (中高生期)



- ・個室に分けて自立心を育む「自立のマイルーム」
- ・自分の物は自分で管理する「僕の私のクローゼット」

(3) 子どもに、家族にやさしいアイテム

①CP電気錠「ラ・ロック」

赤ちゃんを抱いたままでも、カードを「かざすだけ」の簡単操作で、防犯性の高いツーロック（鍵が2つ）のCP*玄関ドアを施開錠。子どもに持たせる場合も失くさないよう、携帯電話やランドセルなどにつけられるマスコットキーも用意。

*CP：「防犯＝Crime Prevention」の頭文字を表し、「防犯性の高い建物部品」として国土交通省、経済産業省、建物部品関連団体による「官民合同会議」で認定されていることを示す。



②ラウンドコーナー

居室や廊下の壁の角に丸みをつけた仕様も用意。ハイハイする赤ちゃんや、走り回る子どもにきめ細かに配慮。



③タタミコーナー下引き出し収納

1段上がったタタミコーナー下には、おもちゃなどを自分でかたづける習慣を身につけるのに役立つ収納設置も可能。楽に開け閉めできるキャスター付。



■「キッズデザイン博2009」

- ・日時：2009年8月6日（木）～9日（日）
10:00～19:00（土日は17:00まで）
- ・場所：TEPIA（東京都港区北青山2-8-44）
- ・入場料：無料

以 上